

41 ページの上の絵を見よう。□ が整数 (2, 3) なら学習したね。確かめよう。

2 のとき (式) $80 \times 2 = 160$

答え 160 円

3 のとき (式) $80 \times 3 = 240$

答え 240 円

● □ の数を 2, 3 に変えると、式や計算のしかたはどうなるかな？ ① で考えていくよ。

① 1 m のねだんが 80 円のリボンを、2.3 m 買いました。
代金はいくらですか。

🌱 どんな式を書けばよいか考えましょう。

(式) 80×2.3

① どうしてその式になったのか、理由を説明しましょう。

● 「比例」や数直線の図を使って説明できるかな？

例) ねだんは、リボンの長さに比例すると考える。リボンの長さが 1 m から 2.3 m で 2.3 倍になっているから、
ねだんも 2.3 倍になる。だから、 80×2.3 になると考えた。

○ 42 ページの 2 人の考えを説明しましょう。

例) あみさんは、リボンの長さが整数のときと同じように言葉の式を使って考えている。

はるとさんは、ねだんは長さに比例するから、長さが 2.3 倍になれば、ねだんも 2.3 倍になると考えた。

リボンの長さが小数で表されていても、代金を求めるときには、
整数のときと同じように、かけ算の式をたてることができる。

$$80 \times 2.3$$

続きは次回でもいいよ。

80 × 2.3 (×小数) の計算のしかたを考えよう。

● 答えはだいたいいくつになるかな。2.3は、2より大きく3より小さいことを使ってみよう。

例) $80 \times 2 = 160$ だから、160よりは大きくなりそう。 $80 \times 3 = 240$ だから、240よりは小さくなりそう。

● 教科書を見ずに、まずは自分で考えてみよう。

2 43ページの2人の考えを説明しましょう。

● それぞれが使ったアイデアや工夫に着目しよう。

例) りくさんは、0.1mのねだんを8円と求めて、23倍している。 $80 \div 10 \times 23 = 184$ で、184円。

みさきさんは、23mの代金を1840円と求めて、10でわっている。 $80 \times 23 \div 10 = 184$ で、184円。

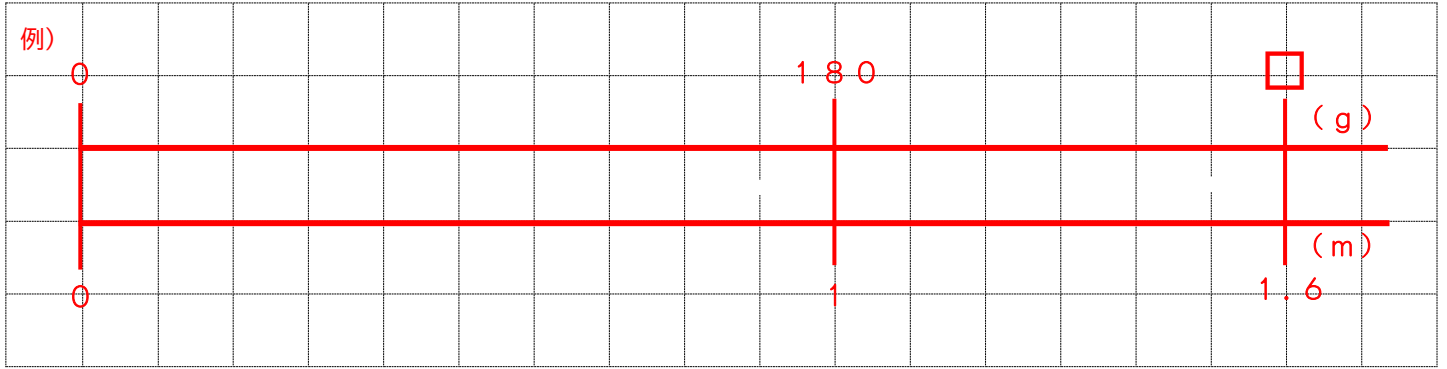
3 43ページの2人の考えで、共通しているのはどんなことでしょうか。

● 2人の最後の式をくらべてみよう。小数の計算を 整数 だけの計算にしているね。

小数をかける計算は、**整数の計算**でできるように考えると、
答えを求めることができる。

1 の問題を読んで答えましょう。

● どんな式になるかな。数直線の図を書いて考えよう。



● 式を書いて計算し、答えを書こう。

式 $180 \times 1.6 = 288$ 答え 288 g

● 今日の学習をふり返って、感想を線で囲もう。

□ むずかしかった △ 少しむずかしかった ○ だいたいわかった ◎ よくわかった

● よくわからなかったところ、むずかしかったところがあれば、先生に質問して、なっとくするまで考えよう。
